

大会名称: 平成29年度
第47回関東中学校バスケットボール大会

開催場所: 甲府市緑が丘体育館 Cコート

試合区分: No. 209 女子 2回戦

期 日: 2017(H29)年8月9日(水)

開始時間: 12:10

終了時間: 13:20

陽南		○		66		●		36		立川五					
(栃木)										(東京)					
				18 -1st-	6										
				20 -2nd-	6										
				12 -3rd-	9										
				16 -4th-	15										
				-OT1-											
				-OT2-											
				-OT3-											
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	佐藤 多伽子	22	0	11	0	2	4	*	千葉 茜	2	0	1	0	1
5	*	横島 楓華	13	0	6	1	0	5	*	宇佐美 真郁	6	0	3	0	3
6	*	関 桃菜	1	0	0	1	0	6		安井 瑛季	-	-	-	-	-
7		福田 萌夏	0	0	0	0	1	7		水庭 希夢	-	-	-	-	-
8		山中 優有	-	-	-	-	-	8		伊藤 杏夏	-	-	-	-	-
9	*	大嶋 星空	10	0	4	2	0	9		米田 叶	-	-	-	-	-
10	*	神山 南帆	16	0	7	2	1	10		森 ののか	0	0	0	0	0
11		伊藤 虹歩	0	0	0	0	1	11		大熊 姫夏	-	-	-	-	-
12		島田 あおい	2	0	1	0	0	12		山本 莉奈	-	-	-	-	-
13		福田 姫和	2	0	1	0	0	13		森田 香鈴	2	0	1	0	0
14		呼子 真流	0	0	0	0	0	14		武藤 和美	-	-	-	-	-
15		高橋 梨奈	0	0	0	0	0	15	*	高橋 咲良	6	0	3	0	3
16		富澤 玲奈	-	-	-	-	-	16		及川 心波瑠	-	-	-	-	-
17		高橋 美紗貴	-	-	-	-	-	17	*	有田 虹美	9	1	2	2	1
18		太田 愛	-	-	-	-	-	18	*	菅野 響	11	0	4	3	4
コーチ		植田 佳祐					0	コーチ		若林 功					0
		合計	66	0	30	6	5			合計	36	1	14	5	12

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

昨日の初戦で、山梨の吉田中を破った立川五中と栃木代表の陽南中との戦い。陽南中は、#10のゴール下シュートをはじめ、#5のポストプレー、#4のリバウンドシュートなど高さを生かしたプレーで得点を重ねていく。立川五中は、#4のミドルシュートで応戦し、その後も#13や#5が果敢に1対1を仕掛けるが、得点が伸び悩み18-6で第1Pを終了する。

第2Pも陽南中は#4のインサイドシュート、#10のリバウンドシュート、#5のターンシュートなど、インサイドを中心に得点を重ねていく。24-6となったところで立川五中がタイムアウト。その後、立川五中は#5のインサイドシュートや#15、#5のリバウンドシュートなど、インサイドから得点するとともに、スクリーンプレイを利用したドライブを積極的に仕掛けていく。しかし、高さで勝る陽南中はスクリーンプレイからインサイドを中心に攻撃し、38-12とリードを奪って前半を終了する。

第3P、立川五中は積極的なドライブとDefで流れをつくろうとする。陽南中は#4の連続のゴール下シュートや、ジャンプシュートで引き離そうとするが、立川五中も#17のフリースローや、ブザービーターの3Pで食い下がり、50-21と陽南中リードで最終ピリオドへ入る。立川五中は#18#15のゴール下シュートや、#17のリバウンドシュートで差を詰めると、ボールへのプレッシャーを更に強め、勝利への執念をみせる。しかし、陽南中は#6を中心にボールコントロールをして、落ち着いたゲーム運びをみせる。残り2分を切ってから、立川五中は激しいオールコートDefで追いつけるが、終始、自分たちの長所である高さを生かしたプレーで得点を重ねた陽南中が、66-36でベスト8へ進出した。